

平成25年度 芦屋市保健センター運営審議会会議録

日 時	平成26年3月20日(木) 13:00~14:00
会 場	芦屋市医師会医療センター 2階会議室
出席者	委員長 立花 久大 副委員長 河盛 重造 委員 山下 訓 委員 広瀬 隆也 委員 澤田 喜博 委員 高 義雄 委員 津村 直行 事務局 芦屋健康福祉事務所(保健所) 事務局 越智 恭宏 田中 佐代子 瀬戸山 敏子
事務局	健康課
会議の公表	■ 公開
傍聴者数	0 人

1 会議次第

(1) 開会

(2) 議題

- ・委員長及び副委員長の選任
- ・平成25年度保健センター事業の実施結果について
- ・平成26年度保健センター事業について

(3) その他

- ・平成26年度芦屋健康福祉事務所地域保健課定例業務日程について

(4) 閉会

2 提出資料

資料-1 平成25年度主要事業の実施結果について

資料-2 平成26年度保健センター事業について

資料-3 平成26年度芦屋健康福祉事務所地域保健課定例業務日程表

3 審議経過

【開会】

(事務局越智) お忙しいところ、お集まり頂きまして誠に有難うございます。それでは定刻になりましたので芦屋市保健センター運営審議会を開会いたします。

今回が平成25年度第1回目の開催となります。委員の皆様は、平成25年7月1日から平成27年3月31日までの2年間となっておりますので、よろしくお願いいたします。初めての方もいらっしゃいますので、会を始める前に簡単に自己紹介をお願いいたします。

(各委員より自己紹介)

(事務局越智) それでは、議題に入りたいと思います。なお、本審議会は芦屋市情報公開条例の規定により、会議は公開となっております。また、委員の皆様方のお名前や肩書き、会議録及び会議録中の発言者名も公開となっておりますのでよろしくお願いいたします。

それでは、議題1にはいります。委員長及び副委員長の選出を行いたいと思います。芦屋市保健センターの管理に関する条例施行規則第11条第2項の規定に基づき、委員長及び副委員長は委員の中より互選するとなっておりますが、どなたかご推薦はないでしょうか。

(澤田委員) 委員長に立花先生、副委員長は河盛先生が適任かと思いますがいかがでしょうか。

(事務局越智) ただ今澤田委員より推薦がありました。異議はありませんでしょうか。ご異議はないようですので、委員長には立花先生、副委員長には河盛先生と決定いたしました。よろしく願いいたします。委員長より一言ご挨拶いただきたいと思ひます。

(立花委員長) ただ今ご指名いただきました兵庫医科大学病院の立花でございます。この芦屋市保健センター運営審議会委員を長く務めさせていただいておりますが、初めて知ることも多く、皆様のサポートを受けてすすめていきたいと思ひます。よろしく願いします。

(事務局越智) ありがとうございます。次の議題へ入る前に配布資料の確認をさせていただきます。レジメ、委員名簿、資料1、資料2、資料3をお配りしています。過不足ありませんでしょうか。それでは、立花委員長、以降の議事の進行をよろしく願いいたします。

(立花委員長) では、議題ひとつめ平成25年度主要事業実施報告を事務局から願ひします。

(資料1の説明)

(立花委員長) どなたか、今の説明に質問、意見はございますでしょうか。

(津村委員) 3ページの人数の計上ですが、平成25年度は実人員でとのことでしたが、23・24年度も実人員ということでしょうか。

(事務局田中) いえ、25年度より計上方法を変更していますので、23・24年度は資料のとおりです。

(立花委員長) 14ページの芦屋市健康大学講座は順調に受講生が減少していますが、この理由はどうなのでしょう。内容によるものなのか、周知方法によるものなのかなのでしょうか。受講生はどのような方なのですか。

(事務局田中) 受講生は、芦屋市民の方が多く、少数ですが西宮や神戸市民の方もいらっしゃいます。

(立花委員長) 一般とあるのはどういう意味ですか。

(事務局田中) 一般公開講座の意味です。

(立花委員長) 他にはどなたか、ございませんでしょうか。

(広瀬委員) 13ページの(9)歯周病疾患予防についてですが、昨年度まで年々増加していました。たくさんのご利用はありがたいですが、これ以上増加すると医師一人での対応が難しいと思ひているところでした。利用者数を増やすため積極的な無料相談・健診への勧奨を他の健診とあわせて実施していただいていたように思ひますが、今年実施しなかったから利用者が減少したのでしょうか。

(事務局田中) 平成24年度は特定健診の受診券送付時に、歯科無料相談・健診のご案内チラシを同封してました。平成25年度はチラシの内容を特定健診受診のご案内の中に盛り込み、方法は変えましたが勧奨を続けています。

(広瀬委員) 案内方法が変わったということですね。あまりに利用者が多いと待ち時間が増えたり、ゆっくり話を聞くことができなかつたりと弊害もあるので、今年と同

じように勧奨を続けていただければよいのではないのでしょうか。

(立花委員長) 他にありませんでしょうか。もしありましたら、また後ほどでも構いますので、次に進めたいと思います。議題ふたつめ平成26年度保健センター事業を事務局お願いします。

(資料2の説明)

(立花委員長) ありがとうございます。どなたか、今の説明に質問、意見はございますか。

(河盛委員) 予防接種についてですが、3種混合ワクチンが4種混合ワクチンに切り替わり1年が過ぎ、3種混合ワクチンの製造を26年内で中止する製薬会社があります。3種混合を接種した児の1年後の追加接種は、同じ3種混合ワクチンでなっていますが、製造が中止された場合もそのままとなるのですか。4種混合ワクチンを使用しての接種ができますか。

(事務局瀬戸山) 3種混合ワクチンの製造終了についての情報が市にも入っています。終了前に未接種者への接種勧奨を実施したいと思っています。ワクチンがなくなった後については、4種混合ワクチンの接種でやむを得ないと思います。

(立花委員長) 他には何か、ありませんでしょうか。

(保健所) 肺がん検診アスベスト検診があるのですが、感染症予防法においても結核検診の実施を市町が行うことになっていますし、報告にも肺がん検診の数を計上されていると思うのですが、市民への結核についての啓発を含み、結核検診という表記も必要ではないのでしょうか。結核という病気がなくなったわけではなく、結核患者は高齢者が多いものの、若い人もかかっているので、検診名で市民への啓発をしていくことが必要だと考えます。

(事務局瀬戸山) 市町が実施しなければならない結核検診の対象は65歳以上となっています。結核・肺がんの検診はセットで実施しています。また別にアスベストに暴露した可能性の高い方のためのアスベスト検診を毎月実施しています。

(保健所) そうですね。肺がん・結核検診と位置付けているならば、市民の目に触れる広報や保健センターだよりの検診名の表記を肺がん検診結核検診としてはどうでしょうか。

(事務局田中) 次年度以降検討させていただきます。

(立花委員長) 他には何か、ありませんでしょうか。なければその他ということで、平成26年度芦屋健康福祉事務所定例業務についてお願いします。

(資料3説明)

(立花委員長) どなたか、ご意見はございますでしょうか。

(立花委員長) 心の相談に来られるのは、一回終了の方が多いのですか。それとも毎月継続して来られる方が多いのですか。

(保健所) 電話予約制にしまして、一回完結の方が多いです。

(立花委員長) そのあとはどうなるのですか。

(保健所) 支援が必要な方には保健師が関わったり、医療機関受診が必要と思われる方については医療機関をご紹介します。

(高委員) アルコール依存症家族会の方は何人位いらっしゃいますか。

(保健所) 家族会の方が通常5~6人出席され、新規にアルコール依存症の診断のついでご家族の相談に応じています。同じ悩みを抱える者同士で支えあうという主旨になっています。

(高委員) 医師のかかわりはないのですか。

(保健所) この事業には直接の医師の関わりはありません。

(立花委員長) 医師が関わりのある事業は心の相談だけですか。

(保健所) はい、他には検査とですね。

(立花委員長) いかがでしょうか。

(河盛委員) 乳幼児健診に共通して来られていない方はどのくらいありますか。

(事務局田中) 4か月児健診については、未受診勧奨等で100%把握をしています。

その他の健診については未受診者勧奨は実施していますが、100%把握には至っていません。

(河盛委員) いや、4か月・10か月・1歳6か月を連続して受診していない児が予防接種の受け漏れが多いことが推測できるので、お聞きしたかったのです。

(事務局田中) 今後、健診未受診者と予防接種未接種者と比較しながら、対応策について検討していきたいと思います。

(立花委員長) がん検診において、要精密者の人数はわかりましたが、そのうちがんと診断された方はどのくらいいたのですか。

(事務局田中) 23年度精密健診結果になりますが、胃がん2名肺がん7名大腸がん24名乳がんマンモグラフィ併用は22名視触診のみは1名が発見されています。

(立花委員長) 大腸がんの方が多いのですね。肺がんなんかもみつかっているのですね。他には何か伺うことありませんか。

(保健所) 広域予防接種に阪神間は参加してなかったように思うのですが、芦屋市は参加されていますか。

(事務局田中) 芦屋市では平成24年度から広域的予防接種に参加しています。

(河盛委員) 母子手帳が毎年変わっているのですが、これは市と何か関係がありますか。

(事務局瀬戸山) 母子手帳は国が改正を行っています。市としては既成の母子手帳購入の際、見やすいもの使いやすいものを選択するようにしています。平成25年度より購入する母子手帳を変更しました。

(河盛委員) 予防接種のページからロタウィルスワクチンの接種記録欄が削除されているのです。その他の予防接種の欄にインフルエンザが記載されていたのも消えておりどうなっているのかなと思っていたのです。最近では海外に出られる方も多くA型肝炎ワクチンを接種することも増えているのに。

(事務局瀬戸山) 既成のものでございますのでご了承いただけませんかでしょうか。

(高委員) 健康チェックの受診者でピロリ菌の検査の希望者はいませんか。

(事務局田中) 希望は聞いていませんが、保健センターにピロリ菌の検査は実施していないのですかというお問い合わせはあります。

(高委員) そんなに高い検査でもないし、項目を追加することを検討してはどうですか。

(河盛委員) 希望者からは必要額お支払いいただいてもいいのでしょうか。

(事務局瀬戸山) 健康チェック開始時、医師会の先生方の協議のうえ項目を決定させていただきました。その後囑託医の意見等を聞きながら項目の追加を検討しています。ご意見として、今後検討したいと思います。

(立花委員長) 貴重なご提案ありがとうございます。他にはありませんでしょうか。議事はこれで終わりにします。

(立花委員長) これで第1回保健センター運営審議会を終了いたします。皆様ありがとうございました。

【閉会】